

## 《第9回「原子力のあり方に関する有識者会議」の開催結果について》

3月6日、当社本店において、第9回「原子力のあり方に関する有識者会議」を開催しました。本会議は、原子力全般にわたる課題に関して、社外の有識者の方々から幅広くご意見・ご助言をいただくことを目的に2011年10月に設置したものです。

当社といたしましては、本会議におけるご意見・ご助言の内容を踏まえ、技術力の維持・向上に向けた各種取り組みの充実・強化を図ってまいります。

今回のテーマ 「技術力の維持・向上に向けた取り組み」

### 出席委員の方々の主なご発言

- ・企業で求められる人材は、一般的に「T字型」に例えられることがある。縦棒は知識の深さを表現しており、その点についてはしっかりと対応がなされている印象を受けた。横棒は経験から得られる知識の幅を表現しているが、例えば、発電所が稼働していないからこそ経験できることとして、他部門や協力企業、地域の皆さまとの相互交流等で視野を広げていく取り組みも重要である。
- ・技術継承を図っていくためには、知識・技術力を整理するだけでなく、さまざまな経験値や組織風土も踏まえることが重要である。
- ・発電所の現場における技術力だけではなく、例えば地域住民との対話活動において、技術系の社員自身がしっかりと説明することができるという技術力(コミュニケーション力)も重要であり、その重要性もしっかり認識してほしい。
- ・若年層に対して適切に指導するためには、その指導者への教育のあり方が重要である。

### 原子力のあり方に関する有識者会議の委員(五十音順)

浅利 靖氏(北里大学医学部救命救急医学主任教授)  
新野 良子氏(株式会社新野屋専務取締役)  
北村 正晴氏(東北大学名誉教授)  
高橋 正典氏(株式会社高政代表取締役会長/女川町商工会会長)  
谷口 武俊氏(東京大学政策ビジョン研究センター教授)  
中村葉志生氏(株式会社ハリートアンドカンパニー代表取締役)  
橋爪 秀利氏(東北大学大学院工学研究科教授)

### 当社の出席者

原田 宏哉(取締役社長 社長執行役員)  
坂本 光弘(取締役副社長 副社長執行役員)  
岡信 慎一(取締役副社長 副社長執行役員)  
田苗 博(取締役副社長 副社長執行役員)  
増子 次郎(取締役副社長 副社長執行役員)  
長谷川 登(取締役 常務執行役員)  
加藤 功(常務執行役員)  
鴫田 真孝(執行役員 東通原子力発電所長)  
若林 利明(執行役員 女川原子力発電所長)

※一部の委員については、当日、ご都合により欠席。

ほか

## 《平成30年度総合消防訓練を実施しました》

2月13日、女川原子力発電所において、「平成30年度総合消防訓練」を実施し、発電所員および構内協力企業社員約300名が参加しました。

今回の訓練は、発電所員が執務を行っている事務新館で火災が発生したとの想定で、階段を使用した屋外避難に加え、階段の使用が困難な場合に備え、避難器具を使用した避難訓練を実施しました。

また、粉末消火器による消火訓練や、発電所に配備している消防車による放水訓練なども実施し、初期消火活動に必要な技術の習得を図りました。

当発電所では、今後もこのような総合消防訓練をはじめ、放射線管理区域内等での火災発生を想定した消防訓練などを定期的に行い、発電所内の火災が地域に影響を及ぼさないよう努めてまいります。



避難器具を使用した避難訓練



粉末消火器による消火訓練



消防車による放水訓練

女川原子力発電所では、万が一の火災発生に備え、発電所員を中心に構成する自衛消防組織を設置するとともに、化学消防車を配備し、定期的に消防訓練を行っています。

今回の総合消防訓練は、火災発生時における初動対応の確認および発電所員の防火意識の高揚を目的に実施しました。

発電所においては、消防署から消防隊が到着するまでの間の発電所員による初動対応が非常に重要です。

まずは、「火災を発生させないこと」が何より重要ですが、万が一に備え、今後も、さまざまな事象を想定した訓練を積み重ねてまいります。



総務部 総務グループ  
嶋津 祐介(新潟県出身)

## 女川原子力PRセンターから臨時休館日のお知らせ

女川原子力PRセンターでは、「天皇の即位の日及び即位礼正殿の儀の行われる日を休日とする法律」の施行に伴い、4月30日(火)、5月1日(水)、5月2日(木)を臨時休館日とします。お客さまにはご不便をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

# 『ワークショップ&PRセンター見学会』開催のお知らせ

開催内容 ※各回ともPRセンター見学会と合わせての開催となります。

<b>フェイシャル リンパマッサージ</b> 4/22(月) お申し込み締切日 4/8(月)	<b>「ハーバリウム」作り</b> 5/8(水) お申し込み締切日 4/24(水)	<b>「スペインタイル」作り</b> 5/21(火) お申し込み締切日 5/7(火) 5/26(日) お申し込み締切日 5/12(日)	<b>フットリンパ マッサージ</b> 5/29(水) お申し込み締切日 5/15(水)
			
<b>講師</b> リラクムーン(仙台) ダイシン&カフェさくら(女川)	<b>講師</b> ふうらわ~しよっぶ 花友(女川)	<b>講師</b> NPO法人 みなとまちセラミカ工房(女川)	<b>講師</b> リラクムーン(仙台) ダイシン&カフェさくら(女川)
リンパを流して「小顔」になろう! ご自宅でも気軽にできる「顔の セルフマッサージ」を学びます。	ありがとうございます「ハート ハーバリウム」を作ります。 お花をボトルの中に入れて作る おしゃれな植物標本です。	カラフルなスペインタイルの 絵付けが体験できます。 PRセンターキャラクター 「ごろたん」柄も準備します。	リンパを流して「むくみ」スッキリ! ご自宅でも気軽にできる 「脚のセルフマッサージ」を 学びます。

※写真はイメージです。

女川原子力PRセンターでは、ご自宅でも気軽に楽しめるセルフマッサージや、「ハーバリウム」作り、「スペインタイル」作りが楽しめるワークショップを開催します。皆さまからのたくさんのお申し込みをお待ちしています。

**参加者募集** 開催時間 10:00~13:00 会場 女川原子力PRセンター  
 (各回共通) 募集人数 15名 参加費 500円/人

**応募者多数の場合 抽選** 無料シャトルバス運行 行き/女川駅(9:10発)→PRセンター(9:50着)  
 帰り/PRセンター(13:10発)→女川駅(13:50発)

**お申し込み方法** お電話またはPRセンター受付でお申し込みをお願いいたします。  
 お申し込みの際には、以下の必要事項をお知らせください。

- ①参加希望日 ②郵便番号 ③住所 ④お名前 ⑤年齢・性別 ⑥電話番号  
 ⑦職業 ⑧無料シャトルバスご利用の有無(女川駅~PRセンター往復)

※お申し込みの結果については、開催日の一週間前を目途に、ハガキにてお知らせいたします。

**お問い合わせ お申し込み** 女川原子力PRセンター 住所: 牡鹿郡女川町塚浜字前田123  
 電話番号: 0225-53-3410 開館時間: 9:30~16:30  
 休館日: 4/15(月) 臨時休館日: 4/30(火)・5/1(水)・5/2(木)

## 《東北電力 IH 料理体験会のご案内》

~IHクッキングヒーターで楽しく作って、美味しく食べよう!~

女川町復興祭に合わせ「IH料理体験会」を開催します。お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

**実施日時** 3月24日(日) 1回目 10:00~ 2回目 11:30~  
 (1回の料理時間は 3回目 13:00~ 4回目 14:30~  
 20分~30分程度となります。)

**実施場所** 女川原子力発電所 地域総合事務所(1階 多目的スペース)

**参加費** 無料(各回先着20名様までの受付となります)  
 ※入口に準備している受付簿にお名前と人数をご記入いただき、  
 開始時間前までにお集まりください。

**メニュー** ●筍としらすの炊き込みご飯 ●銀鮭の味噌ホイル焼き



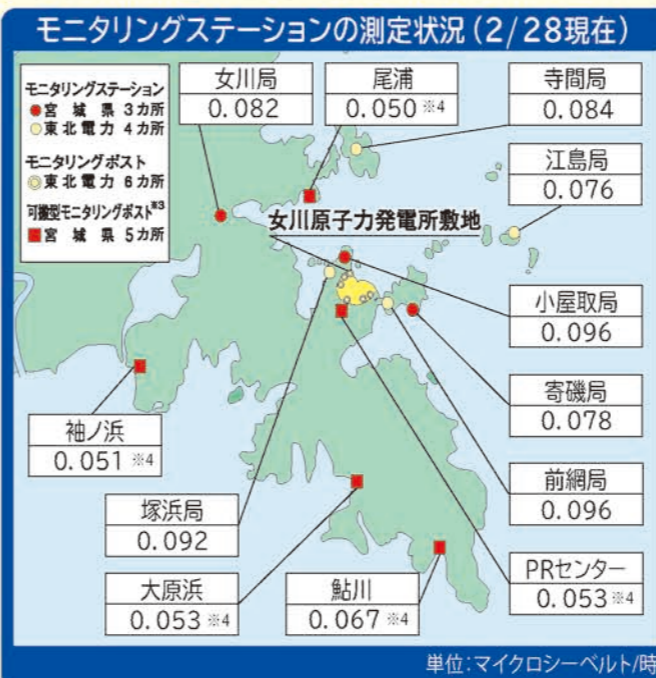
※写真はイメージです。



## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.058マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
2011年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年3月13日	1.8~21 ※4 ※5
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	
2012年4月1日	0.063~0.098 ※4
2013年4月1日	0.055~0.076 ※4
2014年4月1日	0.046~0.065 ※4
2015年4月1日	0.043~0.077 ※4
2016年4月1日	0.041~0.061 ※4
2017年4月1日	0.038~0.059 ※4
2018年4月1日	0.037~0.048 ※4
2019年2月1日	0.037~0.048 ※4
2019年2月28日	0.037~0.058 ※4

単位: マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。  
 ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。  
 ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。  
 ※4 モニタリングポストや可搬型モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。  
 ※5 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。